



平成 19 年 12 月 12 日

各 位

会 社 名 ア ヲ ハ タ 株 式 会 社  
代表者名 取締役社長 多智花 宏 治  
(コード番号 2830 東証第2部)  
問合せ先 取締役総務部長 豊政 茂  
T E L (0846)26-0111

親会社等に関する事項について

1. 親会社等の商号等

(平成 19 年 10 月 31 日現在)

親会社等	属性	親会社等の議決権所有割合	親会社等が発行する株券が上場されている証券取引所等
株式会社中島董商店	当社が他の会社の関連会社である場合における当該他の会社	19.7%	なし
キユーピー株式会社	当社が他の会社の関連会社である場合における当該他の会社	16.2% (0.4%)	株式会社東京証券取引所 市場第一部

(注) 親会社等の議決権所有割合欄の( )内は、間接被所有割合で内数であります。

2. 親会社等のうち、当社に与える影響が最も大きいと認められる会社の商号およびその理由

当社に与える影響が最も大きいと 考えられる会社の商号	その理由
株式会社中島董商店	議決権をより多く有しているため。

3. 親会社等の企業グループにおける当社の位置付けその他の当社と親会社等との関係

(1) 親会社等の企業グループにおける当社の位置付け、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的関係

株式会社中島董商店は当社の関係会社（その他の関係会社）であり、当社議決権の19.7%を所有する筆頭株主であります。また、キユーピー株式会社は当社の関係会社（その他の関係会社）であり、当社議決権の16.2%（間接所有分0.4%を含む）を所有する第2位の株主であります。なお、株式会社中島董商店は、キユーピー株式会社の関係会社（その他の関係会社）であり、同社の議決権の20.4%（間接所有分3.2%を含む）を所有する筆頭株主であります。

当社の前身は昭和7年12月、株式会社中島董商店の全額出資により、株式会社旗道園として創立しておりますが、その製品はすべて株式会社中島董商店に販売しております。

戦後の昭和23年12月、青旗缶詰株式会社として設立、再発足した後も、その製品については大部分を株式会社中島董商店に売り渡し、同社が販売することとしておりました

が、昭和47年12月には、株式会社中島董商店の販売部門をキューピー株式会社に移管したため、当社製品についても株式会社中島董商店を経由してキューピー株式会社が販売することとなりました。その後、平成8年11月に販売経路を一部変更し、現在の契約内容は下記のとおりとなっております。

「キューピー株式会社所有の商標を付した製品および同社から委託を受けた製品は同社へ直接売り渡し、それ以外の製品については株式会社中島董商店を経てキューピー株式会社が販売する。ただし、株式会社中島董商店およびキューピー株式会社以外の他社から委託を受けた製品は当該他社へ直接売り渡す。」

上記契約に基づき、当社は両社との間で商品の継続的売買取引など（当期の取引金額は、株式会社中島董商店に対しては76億8百万円、キューピー株式会社に対しては65億46百万円）をおこなっており、両社への販売が全体の81.5%（単体ベース）を占めています。

人的関係では、当社の役員のうち5名が株式会社中島董商店および（または）キューピー株式会社の役員を兼務しているほか、従業員の出向が若干名あります。

#### （役員の兼務状況）

役職	氏名	親会社等又はそのグループ企業での役職	就任理由
代表取締役社長	多智花宏治	（株）中島董商店 取締役（非常勤）	経営・営業情報交換のため
社外取締役（非常勤）	鈴木 豊	キューピー（株） 代表取締役社長 （株）中島董商店 取締役（非常勤）	経営・営業情報交換のため当社から就任を依頼
社外取締役（非常勤）	星川 稔	（株）中島董商店 取締役 食品本部長	経営・営業情報交換のため当社から就任を依頼
社外監査役（非常勤）	中島 周	キューピー（株） 常務取締役 社会・環境推進室長 （株）中島董商店 取締役（非常勤）	監査体制強化のため当社から就任を依頼
監査役（非常勤）	畠中 凱夫	キューピー（株） 専務取締役	監査体制強化のため当社から就任を依頼

（注）当社の取締役9名、監査役3名のうち、親会社等との兼任役員は当該5名のみであります。

（2）親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的関係などの面から受ける経営・事業活動への影響等

当社の主要販売先は、株式会社中島董商店およびキューピー株式会社の2社であり、両社への販売が全体の81.5%（単体ベース）を占めています。

従って、当社グループと株式会社中島董商店およびキューピー株式会社は営業取引上重要な関係を有していることから、両社と当社グループの関係の変化によって、当社グループの業績と財政状況に影響を及ぼす可能性があります。ただし、目下のところ、両社と当社グループとの間で特に懸念される問題はなく、今後も安定的な営業取引を含めて良好な関係が維持されるものと考えております。

(3) 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的関係などの面から受ける経営・事業活動への影響等がある中における、親会社等からの一定の独立性の確保に関する考え方及びそのための施策

当社と株式会社中島董商店およびキューピー株式会社は、継続的で緊密な関係にあり、当社はキューピー・アヲハタグループの一員として、経営情報の交換、人材の交流等、経営資源の効率的な活用をはかっておりますが、事業活動や経営判断においては自立性を保つことを基本としております。

(4) 親会社等からの一定の独立性の確保の状況

当社と株式会社中島董商店およびキューピー株式会社との間に、金銭の貸借や債務の保証・被保証の関係はなく、また、製品の販売価格につきましては一般的な取引価格と同様、当社の見積価格および市場価格を勘案し都度協議の上決定しております。これらのことから、当社の親会社等からの独立性は充分に確保されているものと認識しております。

#### 4. 親会社等との取引に関する事項

当社と株式会社中島董商店およびキューピー株式会社との間には、製品の販売等の取引があります。両社との取引に関する事項は、本日発表いたしました「平成19年10月期 決算短信」34ページ「関連当事者との取引」をご参照ください。

以上